

# 日立市民文化遺産を写真で巡る旅 I (前編)

北部地区	日立市民文化遺産	ページ
北部地区1	黒田入口道標と大原道標	2
北部地区2	入四間道標	4
北部地区3	たかはら自然塾の鳥追い祭り	5
北部地区4	藤坂のサルスベリと古田のヤマナシ	6
北部地区5	大平鎮守のスギ	8
北部地区6	撫子山の能因法師歌碑	9
北部地区7	玉簾寺と玉簾の滝	10
北部地区8	中里発電所と里川発電所	11
北部地区9	中里レジャー農園とリンゴ	13
北部地区10	御岩神社と回向祭	14
北部地区11	奥日立きららの里	28
北部地区12	日鉱記念館と旧久原本部、大煙突	30
北部地区13	本山の一本杉	33
北部地区14	山部のミカン	34
北部地区15	いぶき山イブキ樹叢	36
北部地区16	愛宕神社のシイと長者山遺跡	37
北部地区17	伊師一里塚跡	39
北部地区18	伊師町の鳥追い行事	40
北部地区19	十王台式土器	41
北部地区20	十王前横穴—かんぶり穴横穴墓群	42

# 北部地区1(十王町高原) 黒田入口道標と大原道標

黒田入口道標は、県道60号十王里美線の十王川沿いにあり、入四間方面、御岩神社への道しるべでした。



黒田口やみよの桜



黒田入口道標



# 大原道標

## (十王町高原)



大原道標は、県道十王里美線の十王ダムの近くにあり、十王町友部と東泉寺への道しるべでした。



東泉寺(十王町友部)

# 北部地区2(東河内町) 入四間道標



入四間道標は国道349号の旧道から入四間方面への分岐点にあり、御岩神社のある入四間への道案内でした。



## 北部地区3(十王町高原)

# たかはら自然塾の鳥追いまつり

たかはら自然塾(高原小学校跡)では、毎年小正月に「鳥追いまつり」が行われます。



獅子舞



たかはら自然塾

鳥追いまつり…元来、農作物を荒らす害虫を追い払う行事



足湯



田楽もち



餅つき

北部地区4(十王町藤坂)

## 藤坂のサルスベリと古田のヤマナシ

藤坂のサルスベリは県道十王里見線から入った藤坂公民館の近くにあります。



藤坂の  
サルスベリ

樹齢  
約200年



# 古田のヤマナシ (十王町古田)

古田のヤマナシは十王里美線から藤坂方面に行く旧橋を渡ってすぐのところであり、以前、**野生種として大きい果実**がついたこともあります。



推定樹齢50年以上



# 北部地区5(十王町大平) 大平鎮守のスギ

大平鎮守のスギは県道十王里美線の  
大平地区集落にあり、スギの傍らには  
鎮守の祠があります。



推定樹齢  
約150年以上



## 北部地区6(中深荻町)

# 撫子山の能因法師歌碑

歌碑は中深荻の呉坪と悦子の間にある撫子山にあり、江戸時代に中深荻村のために功績があった会沢親子を称えた顕彰碑です。



能因法師は百人一首の一人



呉坪地区



撫子山



撫子山に立つ能因法師ゆかりの石碑

能因法師とは、平安時代中期の歌人として百人一首にも選ばれていることによく知られています。この歌碑は田舎歌人といふべき感があり、各地に散見しています。そのひとつが、ここに撫子山の碑に刻まれています。

(結句) (能因法師の歌) (嵯峨)

ま	で	つ	ゆ	か	た	と	摩	門	由	加	多	登
し	か	か	か	な	び	こ	天	天	難	比	古	古
こ	の	み	な	お	ね	と	夫	加	那	瀬	途	途
の	み	な	く	せ	わ	と	捨	那	久	瀬	和	和
や	な	つ	し	に		と	也	奈	志	都	仁	仁



撫子山

北部地区7(東河内町)  
玉簾の滝

玉簾の滝は東河内町にある玉簾寺の境内にあり、水戸光圀が命名したと言われています。



# 北部地区8(東河内町、下深荻町) 中里発電所と里川発電所

中里発電所は里川沿いの東河内町に、里川発電所は下深荻町にそれぞれあり、これらの発電所は、**水路式発電所**と呼ばれています。



**中里発電所** (東河内町)



**水路**



里川発電所  
(下深萩町)



## 北部地区9(下深荻町)

# 中里レジャー農園とリンゴ

中里地区では山間部の地形や気象条件を活用してリンゴの栽培を行っています。リンゴの花は桜の開花時期から約3週間後に開花します。



案内板



中里地区  
中里レジャー農園

北部地区10(入四間町)  
御岩神社と回向祭

御岩神社

1630年、水戸藩徳川頼房が出羽三山の湯殿山権現を勧請(かんじょう)した。当初は入四間湯殿権現と呼ばれていましたが、神仏分離令により御岩神社となりました。



社務所



祓戸(はらえど)神社

二つのハート石



ご祭神  
国常立尊(くにとこたちのみこと)  
大国主命(おおくにのみこと)  
伊邪那岐尊(いざなぎのみこと)  
伊邪那美尊(いざなみのみこと)  
他二十二柱





別名  
天狗スギ



## 神木三本杉

県指定天然記念物

推定樹齢  
500年以上

目次へ





楼門



阿形像



吽形像

金剛力士像

[目次へ](#)



日天月天図



御岩山霊場図 16



# 齋神社回向殿

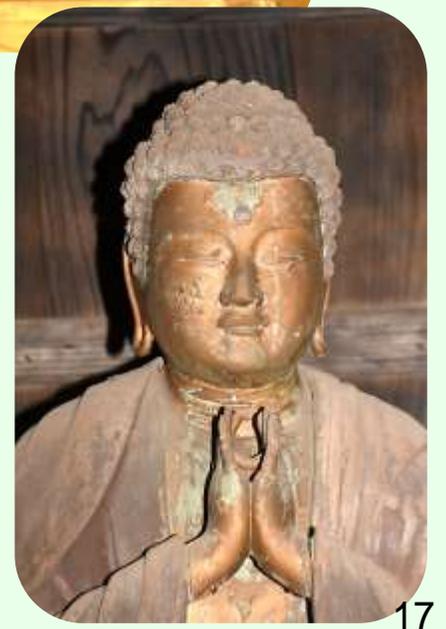


木造阿弥陀如来坐像 市指定



# 御岩山 雲龍図

2016年県北芸術祭  
で奈良県出身の画  
家岡村美紀の作品





本殿

御岩神社

御岩山諸神明細(百八十八神)



参集殿

狛犬



目次へ





愛宕神社



阿夫利社  
弁天社

御岩神社の神仏

神仏混合



眷属神(けんぞくしん)

百観音堂跡  
常念仏堂跡



如意輪観音



栗唐不動明王





水子  
地蔵尊

御岩神社  
の神仏



姥神



稻荷総社



千代  
水

目次へ



御嶽神社



御岩山の百八十八目の神

御岩神社  
の神仏



三宝荒神



佐竹氏  
墓所



目次へ





栗唐不動明王



洗心



御岩山一番目の神  
「栗唐大聖不動滝」

後生車



形代



手水舎



日上市創刊俳誌「かびれ」  
の俳人句碑

小松崎爽青



大竹孤悠



久保紫雲郷



ご神木



# 賀毘礼神宮



ご祭神  
天照大神(あまてらすおおみかみ)  
邇邇芸命(ににぎのみこと)  
立速日男命(たちはやひおのみこと)

目次へ

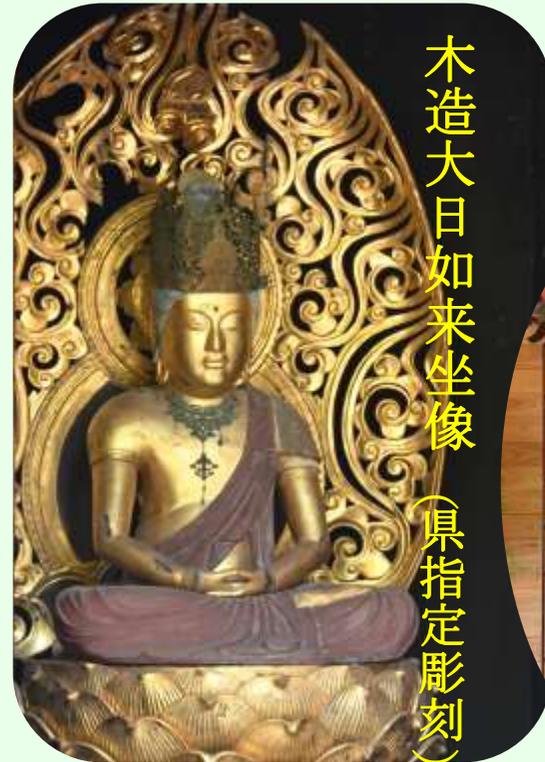
武田耕雲齋

# 回向祭(えこうさい)

回向祭は、死者のために仏事を営み冥福を祈る祭りで毎年4月と10月の第3土・日に開催されます。



目次へ

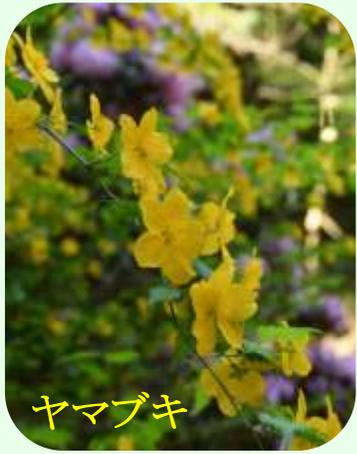


坐像は回向祭  
で公開





ハナイカダ



ヤマブキ



カタクリ



ミズバショウ



シヤクナゲ



御岩神社内の花々



イワウチワ



九輪草



野イチゴ



シヤガ



目次へ



ショウジョウバカマ



アジサイ

# 御岩山

御岩山



中里スポーツセンター方面から



賀毘礼神宮から御岩山への登り口



御岩山頂への道

御岩山頂近くの岸壁



目次へ



御岩山山頂案内板



御岩山頂の岩

御岩山山頂



御岩神社山頂



石柱とお宮  
パワースポット



赤い石  
パワースポット



山頂からの景色



目次へ

# 北部地区11(入四間町) 奥日立きららの里

奥日立きららの里は、県と市が山村地域振興事業として計画され平成6年にオープンしました。「きらら」とは雲母の別名と山頂に輝く星空にちなんで名づけられました。



きらら館



目次へ



星の宮神社



ツツジ



八重桜



富士山

モンゴルの丘から



奥日立きららの里

キバナコスモス

コスモス



[目次へ](#)



日光連山

北部地区12(宮田町)

# 日鉱記念館と旧久原本部、大煙突

日立鉱山は明治38年に久原房之介が赤沢銅山を買収して開業し、工業都市日立の基礎を築きましたが昭和56年9月、76年の歴史に幕を閉じました。



## 日鉱記念館



5馬力誘導電動機



久原房之介

## 館内



目次へ

## 鉱内



トーキー  
映写機





自走式長孔さく孔機

塵外堂(久原家仏堂)

旧久原本部 (県指定史跡)



電気機関車



豎坑



資料館



山神社



大煙突

JX金属(株)  
大雄院事務所



大煙突

大煙突は、平成  
5年に3分の1を  
残して倒壊した。



常磐高速



目次へ



## 北部地区13(宮田町) 本山の一本杉



本山の一本杉は県道日立山方線沿いであり、**市指定天然記念物**になっています。



**樹齢約470年**

昔、この地域は、杉の大樹が多数生育していたが、鉱山の開発に伴って3本だけとなった。明治35年9月28日の台風によって2本が倒れて一本杉になったが、往時を偲ぶ貴重な遺産として保護されています。(JX日立金属所有)

北部地区 1 4 (十王町山部)

## 山部のミカン

山部のミカンは、北限のミカン栽培地と言われ、現在は「寿みかん園」だけになりました。



開花5月中旬



## 山部小学校のミカン

山部小学校の子供たちはミカンを栽培して**学習の教材**として活用したり、ミカン狩りを楽しんでいます。



開花5月中旬頃

# 北部地区15(十王町伊師) いぶき山イブキ樹叢

イブキ樹叢は、花貫川河口の「いぶき山」に自生し、大正11年に国指定天然記念物になっています。



推定樹齢約400年  
別名「ビャクシン」ヒノキ科



伊師浜海岸

花貫川河口



6号国道

北部地区16 (十王町伊師)  
愛宕神社のシイと  
長者山遺跡

十王町伊師にある愛宕神社  
境内のシイの木はスダジ  
イで、市の天然記念物なっ  
ています。



高さ20m

幹周り5.6m

目次へ

推定樹齢  
200年以上

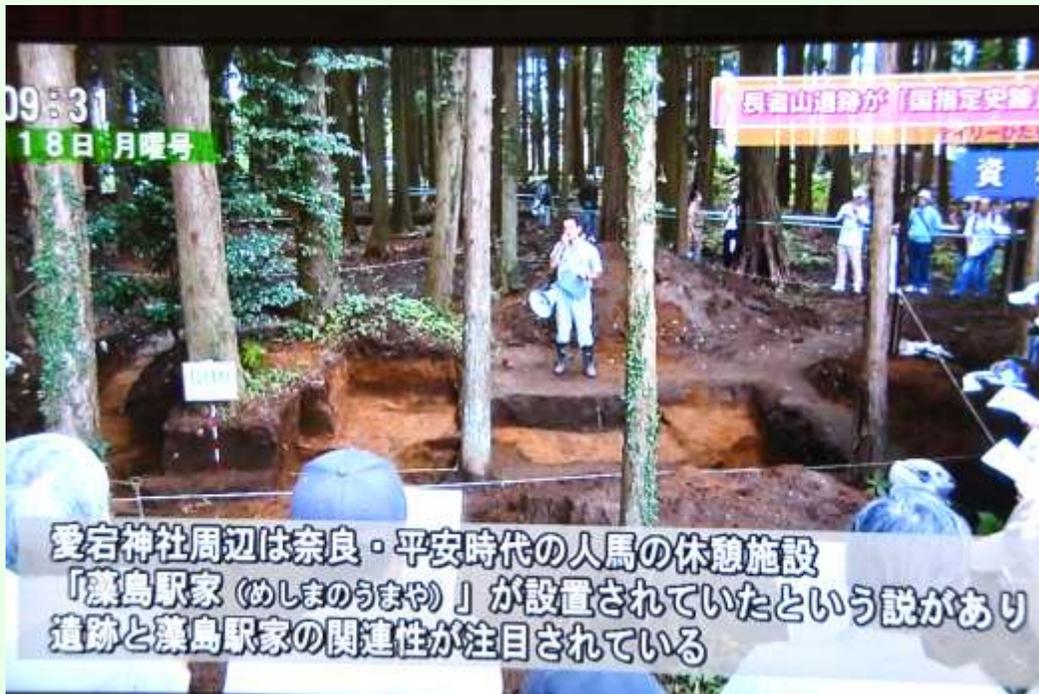


愛宕神社

# 長者山遺跡(十王町伊師)

「常陸國風土記」に記述されている「藻島駅家(めしまのうまや)」を調査したところ道路跡が発見され、その後、愛宕神社境内を調査、道路と建物跡が発見された。平成30年6月16日、「長者山官衛遺跡及び常陸国海道跡」として国指定史跡に登録されました。

平成30年6月16日、国指定史跡として登録された。



郷土博物館展示

## 北部地区17 (十王町伊師) 伊師一里塚跡

伊師一里塚は、岩城相馬街道の**十王坂越**（歴史の道百選）から伊師宿へ通じる道と伊師浜から十王町友部への道の交差点付近にあったと言われています。



一里塚は、1里(約4Km)毎に街道に築いた塚で、日上市では伊師一里塚のほか、**大和田町、森山町、諏訪町、助川町、滑川町、下深荻町**にあったと言われています。



十王坂越(歴史の道百選)



## 北部地区18 (十王町伊師) 伊師町の鳥追い行事

十王町伊師では、毎年小正月の1月15日前後に鳥追い行事、**どんど焼き**が十王町市民広場で行われています。



**どんど焼き**は、正月の飾りなどを燃やすことで「**歳神様**」「**正月の神様**」が空に帰るといふ伝えがあります。



# 北部地区19 (十王町伊師本郷) 十王台式土器

十王駅から東に向かう台地から、上部を櫛の歯のようなもので描いた波状文様(はじょうもんよう)と胴部に縄文を施した十王台式土器が出土しています。



じゅうおうだいみなみいせきしゅつどいぶつ  
十王台南遺跡出土遺物(市指定)

この土器は、弥生時代後期の弥生土器の標準

県指定考古資料  
郷土博物館所蔵



北部地区20 (川尻町3丁目)

# 十王前横穴—かんぶり穴横穴墓群

十王前横穴(おうけつ)は、十王台地南側の十王川に面した斜面に26基あり、かんぶり穴横穴墓群とも呼ばれています。



市の文化財に指定



第11号墳装飾横穴墓

